

# 小学校中・高学年児童に放射線から身を守る方法を伝えるための

## 放射線教材

○長沼 真央、下平 佳澄、中村 洋太（帝京大学、医療技術学部）

### 1. はじめに

放射線防護の方法については、小学校レベルでは、その内容を理解するのは難しい。しかし、放射線防護の意味と方法を知ることが放射線について正しく理解するためには重要なことであり、これを分かりやすく説明する教育コンテンツがあれば役に立つのではないかと考えた。

中途中に放射線に関するクイズを入れることで子供達を飽きさせないような工夫も行っている。

### 2. ターゲット

小学校の中・高学年児童

### 5. 新規性・期待される効果

この教材が放射線と放射線防護について知るための教材となり、いじめの問題などにも関心を持ち、放射線について教員と一緒に考える契機になることを期待したい。

### 3. 目的

放射線の基本的な性質と放射線から身を守る方法（放射線防護）について学べること

### 4. 教材の内容・方法・進行

#### 1) 放射線の性質（プレゼンテーション）

教材にはパワーポイントを用い、視覚的で分かりやすい内容となるような教材を作成することを目的とした。

放射線の基本的な性質としては身近なものX線CT写真とそのものの外観を示して、外からでは見えないものを見ることが出来る透過力を取り上げた。外部被ばくでは、透過力があることが体にとっての悪影響につながることを示すためである。

#### 2) 放射線防護（水鉄砲によるハンズオン）

放射線防護について、水鉄砲を使って、放射線に当たる時間を短くすること、距離をとることの意味を視覚的で分かりやすい画像で表した。遮蔽についてはX線撮影時に遮へい材を使うことで放射線が透過できないことで説明した。また、途